

## 地域経済経営コース（カリキュラム・ポリシー）

カリキュラム・ポリシー	<p><b>教育課程編成の考え方</b></p> <p>1 「基礎教養科目群」</p> <p>(1)「専門基礎科目群」及び「専門科目群」を履修するための基礎的な知識を幅広く修得するとともに、島根地域の基礎知識や地域と関わるために必要な幅広い教養を身につけることを目的として、1年次を中心に社会科学・人文科学・自然科学の「一般教養科目」を配置します。また、情報・統計の基礎を学修するための「情報・統計科目」、外国語の活用能力を高め、多様性を尊重する態度を養うための「語学・多文化理解科目」を、それぞれ配置します。</p> <p>2 「専門基礎科目群」</p> <p>(1)地域社会の特性と課題について理解を深め、課題について考察する際の基本的な知識や理論・調査手法・国際的な視野を身につけることを目的として、1年次から2年次を中心に、学科共通科目として「学科コア科目」「リサーチ科目」「国際理解科目」「実習科目」を配置します。</p> <p>(2)1年次に、少人数ゼミの「地域経済経営基礎演習」を必修科目として配置し、経済学や経営学の方法論及びフィールドワークやPBL（問題解決型学習）に取り組むための基礎的な技法を身につけます。</p> <p>(3)経済学や経営学の根幹となる基礎知識を学ぶための科目を、地域経済経営コースの「コア領域科目」として配置します。また、「コア領域科目」と併せて履修を推奨する科目を、「関連領域科目」として配置します。</p> <p>3 「専門科目群」</p> <p>(1)「専門基礎科目群」と同様、2年次から4年次に、地域経済経営コースの「コア領域科目」及び「関連領域科目」を配置し、体系的な学修を通じて、経済学や経営学を中心とする専門知識と調査・分析技法を獲得し、それらを活用して地域課題の解決策を構想する力を確実に身につけます。</p> <p>(2)2年次から4年次に、少人数ゼミの「地域マネジメント演習」を必修科目として配置し、行政や支援機関、企業とも連携しPBL（問題解決型学習）やフィールドワークに取り組み、課題解決の方策を探求・比較分析し、結論をわかりやすく提示する力の修得を目指すとともに、コースでの4年間の学修成果のまとめとして、卒業研究に関わる調査・研究を遂行します。</p> <p><b>学習内容及び学習方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一般教養や、経済学・経営学を中心とする幅広い知識を修得するために、主として講義形式の科目を履修します。</li><li>・基礎知識に基づいたPBL（問題解決型学習）やフィールドワークを通じて、課題を発見し、解決の方策を探求する能力を身につけるために、講義形式の科目を幅広く履修するほか、すべての学年で演習などの少人数制の科目を必ず履修します。</li></ul>
-------------	---